

明日の暮らし、ささえあう

**CO-OP 共済**

# 地域ささえあい助成

## 2026年度「協働ひろめる助成」応募用紙

本助成制度では、人と人、組織と組織のつながりの中で、時にはささえ、時にはささえられながら誰もが安心してらせる地域社会に向けて、生協と生協以外の団体が協働して取り組む活動を支援します。

地域において、社会課題や地域課題の解決のために地域の多様な団体と生協とのつながりを創り、広げ、協働の力でさまざまなテーマに取り組もうとされ



制度全般に関するお問い合わせ先

**03-6836-1324**

(平日10:00~16:00 土日祝日除く)

[contribution@coopkyosai.coop](mailto:contribution@coopkyosai.coop)

日本コープ共済生活協同組合連合会  
(コープ共済連)

組合員参加推進部 地域ささえあい助成事務局

協働に関するお問い合わせ・  
生協紹介のご相談先

**03-5778-8135**

(平日10:00~16:00 土日祝日除く)

[sasaeai@jccu.coop](mailto:sasaeai@jccu.coop)

日本生活協同組合連合会  
(日本生協連)

社会・地域活動推進部 地域コミュニティグループ

## 提出書類（協働ひろめる助成）

<input checked="" type="checkbox"/> 応募用紙（様式1～様式5） ※書式を変更せず、エクセルデータでご提出ください。
<input checked="" type="checkbox"/> 定款、規約、会則、またはこれらに準ずるもの
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度の事業報告書、または活動実績がわかる資料 (会員生協以外の生協および団体は事業全体の資料を抜粋せず添付してください)
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度の決算報告書、または前年度の会計実績がわかる資料 (会員生協以外の生協および団体は事業全体の資料を抜粋せず添付してください)
<input checked="" type="checkbox"/> 見積書等、申請金額の根拠となるもの ※単価1万円以上の費用のみ

※ご提出にあたりご留意いただきたい点

①コープ共済公式ホームページ（<https://coopkyosai.coop/csr/socialwelfare/hiromeru.html>）  
【申請はこちらから】より、ご提出ください。資料の添付は容量制限があります。申請が無事に送付された場合【受付完了】メールが届きます。申請時に添付できなかった資料は届いたメールに添付して送付してください。その他の方法による提出は受け付けておりませんので、予めご了承ください。

②応募用紙以外の書類も「A4版」で作成してください。

③「見積書等、申請金額の根拠となるもの」とは、「見積書」「料金表」「カタログ」「購入予定のWEBサイト画面をコピーしたもの」など、費用の妥当性・金額の根拠を示すものです。単価1万円以上の費用についてご提出が必要となります（「応募要項」の「経費ガイドライン」参照）。具体的にイメージできる情報の提供がない場合は、助成額が減額もしくは助成対象外となることがあります。金額の根拠はURLを貼付するのではなく（当会セキュリティ上、アクセスできない場合があるため）、画像データや画面コピーを応募用紙とは別のファイルでご提出ください。

## 様式1 確認書（協働ひろめる助成）

※注意：「生協」と「生協以外の団体」の両方のご記入がない場合は応募できません。

以下の内容をご確認のうえ、「内容を確認しました」欄にチェック（☑）を付け、署名・押印しご提出ください。

「協働する団体」とは、同等の関係性（受託・委託関係なし）において、共に活動をすすめる「生協」と「生協以外の団体」のことをいいます。以下のすべての項目をご確認のうえ、チェック漏れにご注意ください。

また、本文書は各協働団体にて助成期間終了まで保管してください。

### ●本助成制度の趣旨に関する確認

・上記の「協働する団体」は、本助成制度の趣旨を理解し、協働を通じて地域への貢献を目指すことを約束します。

・応募にあたり応募用紙（様式1～様式5）で確認した内容に相違ありません。「2026年度「協働はじめる・ひろめる助成」応募要項」および「Q&A（よくあるご質問）」の内容を確認しました。

・提出書類の内容に虚偽があり、または本助成制度の趣旨に反したことにより、助成決定の取り消し等がおこなわれることとなっても異議の申し立てはせず、助成決定の取り消しならびに、助成金を返金することに同意します。



内容を確認しました

### ●提出書類に関する確認

・協働する団体は、提出書類について、所定期間中に提出することを確認します（助成が決定した場合、速やかに助成金を受け取れるよう入金先口座を準備しておきます）。なお、書類不備となるような書式変更はいたしません。



内容を確認しました

### ●当会支援金等の重複に関する確認

・応募する活動は、「CO・OP共済 健康づくり支援企画」や日本コープ共済生活協同組合連合会の「広報宣伝費負担枠」などと重複または関連しないことを確認します。



内容を確認しました

### ●情報公開および個人情報に関する確認

・協働する団体は、下記1、2を確認し、同意します。

1. 助成決定後、次の事項が日本コープ共済生活協同組合連合会のオフィシャルホームページで公開されること。

「団体名」、「助成された活動の名称および概要」、「活動内容」、「活動の様子がわかる写真」、「活動成果」、「その他団体から提出された情報」

2. 本助成制度の運営にあたり日本コープ共済生活協同組合連合会が取得する個人情報については、助成先の選考および本助成制度の運営に必要な範囲で利用し、厳格に管理をおこなうこと。

※日本コープ共済生活協同組合連合会の「個人情報保護方針」については、以下URLにて公開しておりますのでご参照ください。 <https://coopkyosai.coop/privacy/>



内容を確認しました

### ● 応募不可団体に該当しないことの誓約

・下記 1～9 の当会所定の応募不可団体のいずれにも該当しないことを確認し、将来においても該当しないことを誓約します。

・下記 1～9 のいずれかであることが判明した場合は、助成決定の取り消し等がおこなわれることとなっても異議の申し立てはせず、助成決定の取り消しならびに、助成金を返金することに同意します。

・参画団体（助成活動をともにする団体）については、協働する団体の責任において応募不可団体に該当しないことを確認し、将来においても応募不可団体に該当する団体と活動をともにしないことを誓約します。

・参画団体が下記 1～9 のいずれかであることが判明した場合、助成決定の取り消し等がおこなわれることとなっても異議の申し立てはせず、助成決定の取り消しならびに、助成金を返金することに同意します。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること
2. 反社会的勢力によって経営・運営を支配され、または暴力団員が関与していると認められること
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること
4. 反社会的勢力に資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与していると認められること
5. 役員または関与している者が、反社会的勢力と社会的に非難される関係であると認められること
6. 宗教の教義を広め、儀式行事をおこなう、信者を教化育成することを目的とすると認められること
7. 政治上の主義を推進し、支持し、またはこれに反対することを主たる目的とすると認められること
8. 特定の公職（公職選挙法（昭和25年法律第100号）第3条に規定する公職をいう。以下この号において同じ。）の候補者（当該候補者になろうとする者を含む。）もしくは公職にある者または政党を推薦し、支持し、またはこれらに反対することを目的とすると認められること
9. 前各号の他、以下いずれかの事実が認められること
  - (1) 本確認書での確認事項を偽る事実
  - (2) 本確認書ならびに応募要項に掲げる本助成制度の趣旨に反する事実
  - (3) 公序良俗に反するおそれがある事実



内容を確認しました

### ● その他助成金を受けるにあたっての確認

協働団体は、助成活動が適正に促進されるため、下記 1～9 について確認し、同意します。

1. 助成決定後に助成金を速やかに受け取るため、協働団体のいずれかを受取団体として決めておくこと
2. 助成決定後に協働団体の役員名簿を所定の書式にて提出すること
3. 応募要項記載の「助成の取消および助成金の返金について」を確認のうえ同意すること
4. 助成決定後の活動をするにあたって「地域ささえあい助成」のロゴ・バナーを活用するよう努めること
5. 助成決定後の活動における制作物には【C O ・ O P 共済 地域ささえあい助成の協賛を受けています】と明記すること
6. 助成決定後の活動をするにあたって、活動内容を積極的に情報発信すること
7. 助成期間中に開催される「団体交流会」に参加すること
8. 助成開始後、登録されるウェブページ（「社会貢献の取り組み 登録制ページ」）にログインして必要情報を取得すること
9. 助成期間中に実施される「フレンドリーサポート」（本助成制度独自の双方向的なフォローアップ）に協力すること



内容を確認しました

日本コープ共済生活協同組合連合会

代表理事理事長 笹川 博子 殿

**活動名**

[安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動](#)

**協働する団体**

住所 XX県XX市XX町1-1-1

第一 団体名 ■■■■■生活協同組合

(窓口団体) 代表者氏名

■■ ■■

押印省略

住所 XX県XX市XX町5-5-5

第二 団体名 ●●●●●

代表者氏名

□□ □□

押印省略

**記入日**

2025年 11月 3日

## 様式2 団体情報（協働ひろめる助成）

活動名（様式1より自動表示されます）

安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

### 1. 協働団体

#### ● 第一団体（窓口となる団体）

団体名	■ ■ ■ ■ ■ 生活協同組合			団体の種類	生活協同組合		
住所	〒 123-4567						
	XX県XX市XX町1-1-1						
URL	<a href="http://www.XXXXX.jp">http://www.XXXXX.jp</a>			助成金受取団			
団体概要／事業概要 (150字程度)	××県域において、宅配事業・店舗事業・共済事業・福祉事業を柱に、組合員のくらしの向上および地域社会への貢献をめざしている。近年では特に子育て支援に力を入れ、「地域で子育て」を掲げて行政や様々な団体とも連携した取り組みを進めている。						
実務責任者	氏名	(ふりがな) … …		実務担当者	氏名	(ふりがな) …… …	
		□□ □□□				□□□ □□	
	部署・役職	XX部 部長			部署・役職	XX部 担当	
	メールアドレス	<a href="mailto:XXXX@XXX.XX.jp">XXXX@XXX.XX.jp</a>		メールアドレス	<a href="mailto:XXXX@XXX.XX.jp">XXXX@XXX.XX.jp</a>		
本活動のスタッフ	有給(名)	10	無給(名)	2	連絡先電話番号	090-000-0000(□□□ 携帯)	

#### ● 第二団体

団体名	● ● ● ● ●			団体の種類	NPO法人		
住所	〒 123-4568						
	XX県XX市XX町5-5-5						
URL	<a href="http://www.XXXXX.jp">http://www.XXXXX.jp</a>			助成金受取団	○		
団体概要／事業概要 (150字程度)	地域住民や幅広い福祉関係者の参加により、福祉サービスの質の向上に向けた取り組み、様々な福祉課題への取り組みの推進、ボランティアグループやNPO法人による活動への支援等、幅広い活動をおこなっている。また、そのための調査、広報、人材育成、計画作りなどに取り組んでいる。						
実務責任者	氏名	(ふりがな) … …		実務担当者	氏名	(ふりがな) …… ……	
		○○ ○○				○○ ○○○○	
	部署・役職	代表			部署・役職	コーディネーター	
	メールアドレス	<a href="mailto:XXXX@XXX.XX.jp">XXXX@XXX.XX.jp</a>		メールアドレス	<a href="mailto:XXXX@XXX.XX.jp">XXXX@XXX.XX.jp</a>		
本活動のスタッフ	有給(名)	5	無給(名)	5	連絡先電話番号	○○携帯 090-0000-0000	



## 2. 参画団体

番号	団体名
①	XX市 福祉部 地域福祉課
②	▲▲大学 社会福祉学部 XX研究室
③	株式会社◆◆◆◆
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

## 様式3 活動内容（協働ひろめる助成）

活動名称（様式1より自動表示されます）

安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

### 1. 具体的な活動内容（活動の対象者、活動規模を含んで明記）（200～400字）

XX市を中心とするエリアのひきこもり支援をおこなう。●●●●●がフリースクールの運営サポートや若者の居場所の運営、および、ひきこもり当事者の家族に対するサポートをおこない、就労を望む当事者に対しては、■ ■ ■ ■ ■ 生協が店舗での就労機会を提供することで自立支援をおこなう。また、高齢のひきこもり当事者を支援するために、XX市社会福祉協議会と協働してひきこもりサポーターの養成をおこない、訪問活動や居場所の運営につなげる。2021年度の活動がXX市の広報誌で取り上げられ、地元の大学や企業による協力が広がっている。今年度は更なる広がり求め、当事者とのつながり以外にも、支援者・ボランティアとのつながりも求めていく。また、講演会などのイベントをおこなうことで、活動の深まりと周知を行い、人と人の関りがひきこもりをなくす手段になるよう活動する。

### 2. 各協働団体の役割等

第一団体		第二団体	
団体名	■ ■ ■ ■ ■ 生活協同組合	団体名	● ● ● ● ●
■ 着目した「地域の課題・ニーズ」（200字程度）		■ 着目した「地域の課題・ニーズ」（200字程度）	
ひきこもり当事者の数は多く、ひきこもりは社会的な問題となって久しいが、解決しているとは言えない。また、生協の職員や組合員の家庭の中にも当事者がいるという話を聞く。当事者やその家族は孤立しがちであり、地域とのつながりの中で問題を解決する必要があると考える。また、高齢化社会において、若者のパワーは大きく、活躍の機会が有るはずだが、その機会を与えられない環境を作っているのかもしれない。より		XX県は全国平均を超えるひきこもりの当事者が確認されている。また、閉鎖的な風土もひきこもりの長期化を助長させる一因となっている。そのような状況であるが、ひきこもりの当事者や家族を包括的に支援する機関が十分ではない。	
■ 「活動で担当する役割」（200字程度）		■ 「活動で担当する役割」（200字程度）	
ひきこもり当事者を対象としたイベントの運営に事務局として関わる。また、学習の場を設け、ひきこもりに対する理解を深める。新たに、生協店舗において、ひきこもり当事者のペースにあわせた就労機会を提供し、自立に向けた支援をする。積極的な広報活動で当事者だけでなく、ボランティアや協力者ともつながるための窓口業務を担う。		フリースクールの運営サポートや若者の居場所の運営、親を対象としたおしゃべり会の開催を通じて不登校・ひきこもりの子どもや家族を支援する。また、社会福祉協議会と協力してひきこもりサポーターの養成をおこなう。ひきこもり当事者の回復状態を見ながら、■ ■ ■ ■ ■ 生協をはじめとする協力企業の支援を受けた就労の後押しをおこなう。今年度は講演会も予定しており、開催についての主業務を担当する。	

### 3. 「協働することになったきっかけ」と「これまでの協働の実績」（200字程度）

コミュニティ連絡会に参加する中で、●●●●●の活動について話を聞いたことをきっかけに出会った。若者の居場所づくりの活動に会場の提供や店舗でのお知らせ、当日の運営スタッフなどで協力することで協働を開始した。過去3年間で計9回、●●●●●が主催する若者の居場所に■ ■ ■ ■ ■生協が若者の居場所づくりの活動に会場の提供や店舗でのお知らせ、当日の運営スタッフなどで協力することで協働した。

**4. 応募する活動は、これまでの活動や協働に対し、どのような広まりや新規性があるか（200字程度）**

生協店舗において、ひきこもり当事者のペースにあわせた就労機会を提供し、自立に向けた支援をする。当事者だけではなく、ボランティアや協力者ともつながるための広報活動および窓口を立ち上げ、運営をする。講演会も予定しており、開催についての主業務を担当する。

**5. 2～3年後の発展した活動および協働のイメージ（200字程度）**

※ 本項目は、助成決定後、助成金活用団体内に公開予定です。

■■■■■生協と他市とのつながりや、各市の社協どうしのつながりを活かしながら、ひきこもり支援の対象エリアをXX市の近隣の市へ拡大していく。また、賛同・協力いただいている▲▲大学との協働関係を深め、ひきこもりサポーター養成のプログラム開発等にも関わっていただく予定であり、現在、●●●●●●が中心となって大学との協議をすすめている。1人でも多くのひきこもり当事者が自立できるよう、他団体・他企業との多様なかたちでの協働関係を広げていこうと、情報発信にも力を入れていく。

**6. 生協または団体として、制度事業（介護保険制度、障がい者総合支援法に基づく福祉事業、生活困窮者自立支援制度等）の収入が有りますか。有る場合は制度事業名をご記入ください。**

団体名	制度事業名
■■■■■生協	生活困窮者自立支援制度

**7. 今後の自主財源の確保についてどのように考えているかをご記入ください（200字程度）**

より多くの方に活動を知っていただき賛同いただくことで、企業や個人の方からの寄付金の比率を高めていく（昨年度の寄付金は前年度比で企業が150%、個人が200%）。また、活動の規模に応じた自己資金の拡大をめざし、参加費を設定したイベントの開催（具体的にはXXXXXXXXX、XXXXXXXXX等）を計画しており、賛同する団体・企業との協議をすすめている。経験を活かし各地での講演会への出席も資金源になる。HPやSNSの有効活用で更なる寄付を募る。

## 様式4 活動計画（協働ひろめる助成）

活動名（様式1より自動表示されます）

安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

### 年間スケジュール

四半期	時期	めざす成果 (定量・定性) 例：参加人数	実施内容
第1四半期 (4～6月)	4月	参加人数XX名	春のカフェとフリーマーケット、便利屋相談受付窓口設立、親の会・サポーターの会総会、就労支援会議、おしゃべり会を
	5月	参加人数XX名	居場所開催×3回、サポーター研修①、親の会を開催
	6月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、おしゃべり会を開催
	6月	参加人数XX名	協働団体による定例会（第一四半期の振り返りと三四半期の活動確認）
第2四半期 (7～9月)	7月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、夏カフェとフリーマーケット、便利屋相談受付、就労支援会議、サポーター研修②を開催
	8月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、夏カフェとフリーマーケット、便利屋相談受付、就労支援会議、サポーター研修②を開催
	9月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、サポーター研修③を開催
	9月	参加人数XX名	協働団体による定例会（第二四半期の振り返りと第四四半期の活動確認）
第3四半期 (10～12月)	10月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、就労支援会議、秋カフェとフリーマーケット、便利屋相談受付、おしゃべり会
	11月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、サポーター研修④を開催
	12月	参加人数XX名	クリスマス会、親の会、おしゃべり会を開催
	12月	参加人数XX名	講演会の開催
第4四半期 (1～3月)	1月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、就労支援会議、サポーター研修⑤を開催
	2月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、おしゃべり会を開催
	3月	参加人数XX名	居場所開催×3回、親の会、サポーター研修⑥を開催
	3月	参加人数XX名	協働団体による定例会（第四四半期の振り返りと来期の活動確認）

## 様式5 活動予算（協働ひろめる助成）

活動名称（様式1より自動表示されます）

安心の居場所づくりと社会参加のサポート活動

### 1. 経費明細（円）

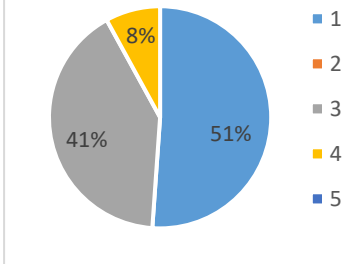
応募する活動で使用する経費をすべて記入し、そのうえで助成金充当額を入力してください。

No.	費目	摘要（内容、算出根拠） ※「単価×個数」等、具体的にご記入ください。	見積書 番号	金額 （税込）	助成金 充当額
1	食料費	だれでも食堂型の居場所で提供する食料（生協提供分を除く）	①	500,000	100,000
2	報償費 /謝礼金	講師謝金（サポーター研修） @50,000円×3回分、 @20,000円×3回分 ボランティア謝礼（居場所） @2,000円×2名×30	②	330,000	330,000
3	人件費				
4	委託料	HP作成費（寄付金募集画面の追加）	③	200,000	0
5	旅費・交 通費	交通費（スタッフ12名分） 自宅⇄会場 居場所30回、親の会12回、おしゃべり会6回、サポーター研修6回、	④	400,000	263,790
6	消耗品費	封筒代（居場所開催チラシ送付用） @598円×20 パック（1パック50枚入） = 11,960円 油性マーカー代（居場所開催で使用） @150円×		14,210	14,210
7	備品購入 費	テーブル@7,000円×3、椅子@2,000円×10、食器、カトラリー、冷蔵庫		250,000	50,000
8	広報費 /印刷費	印刷費（居場所開催チラシ） @20円×2,000枚 = 40,000円	⑤	40,000	40,000
9	通信運搬 費	切手代（居場所開催チラシ送付） @84円×500通 = 42,000円	⑥	42,000	42,000
10	使用料 /賃借料	居場所貸室料（生協提供分除く） @3,000円×20回分 = 60,000円	⑦	60,000	60,000
11	材料費	夏カフェ開催用紙コップ、紙皿、紙エプロン、		10,000	10,000
12	修繕費				
13	その他	運搬用軽ワゴン車任意保険料（初年6等級）、イベント時のボランティア保険@500×40人	⑧	110,000	90,000
<b>合計</b>				<b>1,956,210</b>	<b>1,000,000</b>
					<b>助成金額</b>

## 2. 主となる団体の応募する活動における収入見込（単位：円、％）

※ 助成を受ける年度の応募する活動における収入見込をすべてご記入ください。

※ 協働団体からの資金提供等、1～4の区分に該当しない場合には「5.その他」の区分にご記入ください。

No.	区分	内容	金額 (税込)	割合	収入に占める各区分の割合
1	本助成金 (見込)	CO・OP共済 地域ささえあい助成	1,000,000	51%	
2	自己資金			0%	
3	寄付金	個人寄付金・企業寄付金	800,000	41%	
4	他の助成金 (申請中含)	△△助成金	156,210	8%	
5	その他	●●●●●の自己負担		0%	
<b>合計</b>			1,956,210	100%	

## 3. 上記2の質問で他の助成金を使用する場合、他の助成金と「地域ささえあい助成」の助成金をどのように使い分けて使用する予定か具体的にご記入ください。

※ 地域ささえあい助成が活動のどこに役立っているか明確にできるよう、使い分けをご記入ください。

△△助成金では12月開催予定の講演会の施設利用料・機材費等を賄う予定である。講演会の周知パンフレットには地域ささえあい助成からと△△助成金からの両方の支援金が有ることを明記予定。尚、△△助成金は応募中で、実際助成されるかは今後次第である。△△助成金からの助成が無かったとしても、講演会は開催したいと考えている。

## 4. 特記事項

### (1) 食料費を助成申請する場合

※ 「食料費」を助成申請する場合は、下表の該当する活動の「非該当」を「該当」へ変更してください。

※ 「応募要項」の「経費ガイドライン」を参照し、食料の提供を通じて大切にしていること・工夫していることをご記入ください。

「食料費」助成対象判定	フードバンク・フードパントリー等	該当	生協からの寄付だけではなく、業者にも声がけをして、協力いただいている。ひきこもりの方には原因が貧困によるもの場合も少なくなく、引きこもり本人だけではなく家族も含めた対応が必要で、子ども食堂としての活動だけに収まらずフードバンクとしての活動も心掛けている。
	子ども食堂等	該当	
	高齢者等の見守り活動等	非該当	

### (2) その他の特記事項

※ 以下の費用を助成申請する場合は、「応募要項」の「経費ガイドライン」を参照し、下欄に申請理由をご記入ください。

備品購入費……購入する物品が単価20万円を超える場合は、その物品の必要性と賃借できない理由をご記入ください。

修繕費……活動の実施に不可欠な修繕・改修であることをご説明ください。

※ その他、各費用の補足説明等がある場合は、下欄にご記入ください。